



基礎薬学とエビデンスから おくすり比べてみました

◎SGLT2 阻害薬—糖尿病治療薬として

◎尿酸降下薬

◎直接作用型経口抗凝固薬 (DOAC)

◎アンジオテンシンII 受容体拮抗薬 (ARB)

◎HMG-CoA 還元酵素阻害薬

◎第二世代抗ヒスタミン薬

◎長時間作用性抗コリン薬 (LAMA)

◎プロトンポンプ阻害薬 (PPI)

◎下剤

—ルビプロストン, エロビキシパット, リナクロチドを中心に

◎選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI)

◎非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)

◎JAK 阻害薬—関節リウマチ治療薬として

「特集」編集アドバイザー

石井伊都子 (千葉大学医学部附属病院薬剤部)

大井 一弥 (鈴鹿医療科学大学薬学部)

室井 延之 (神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部 / 神戸市立神戸アイセンター病院)

山浦 克典 (慶應義塾大学薬学部)

掲載内容は都合により変更になる場合があります。

2023 年 12 月 5 日発行

発行者

株式会社南山堂 代表者 鈴木幹太 編集長 村井恵美

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-1-11

TEL 代表 03-5689-7850 www.nanzando.com

装丁デザイン 有限会社タイプフェイス

装丁イラスト あべたみお

DTP 株式会社イオック / クニメディア株式会社 /
株式会社ビーコム / 有限会社タイプフェイス /
株式会社真興社 / 株式会社新協 /
ライブコンタクト /
株式会社ファントムグラフィックス

印刷 株式会社真興社

© NANZANDO Co., Ltd. 2023

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

複製を行う場合はそのつど事前に (一社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得るようお願いいたします。

本書の内容を無断で複製することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、代行業者等の第三者に依頼してスキャンニング、デジタルデータ化を行うことは認められておりません。